

令和3年度

第1回支会長・理事長会



令和3年5月

宮崎県教育研究連合会

令和3年度 第1回 支会長・理事長会議案書 目次

1 議事

- (1) 令和2年度 事業報告…………… p.1
- (2) 令和2年度 決算並びに監査報告…………… p.2～3
- (3) 令和3年度 規約改正(案)…………… p.4
- (4) 令和3年度 本部役員(案)…………… p.5～6
- (5) 令和3年度 努力目標及び事業計画(案)…………… p.7～8
- (6) 令和3年度 予算(案)…………… p.9
- (7) 令和3年度 研究員制度(案)…………… p.10～11
- (8) 令和3年度 教師力向上セミナー(案)…………… p.12
- (9) 令和3年度 スクールマネジメント研修(案)…………… p.13
- (10) 令和3年度 第7回宮教研連のつどい(案)…………… p.14

2 連絡事項

- (1) 宮教研連表彰者確認…………… p.6
- (2) 感染症対策ガイドライン…………… p.15～17
- (3) Zoomアカウントの支会での使用について…………… p.18
- (4) 宮教研連広報メールグループへの加入について…………… p.19
- (5) 令和3年度支会役割ローテーション確認…………… p.20
- (6) 令和3年度県外研修予定…………… p.21
- (7) 全日教連共済会関係…………… p.22
積み立て年金制度、訴訟費用保険、収入保障
- (8) 各支会提出物等…………… p.23
会報紙用写真(支会長・理事長)、支会役員名簿、会員名簿

月	宮崎県教育研究連合会	参加	全日教連関連行事	参加
	第1回教師力向上研修(PM) (延期) 18日 第1回全国大会提案検討会(PM) (兼 第1回研究員研究会) (中止) 25日	— —	全日教連本部役員会 (中止) 12日 第215回執行委員会・局会議 (書面) 18～19日	— 2
5	第1回支会長・理事長会(AM) (中止) 23日 ●第1回教研大会運営委員会(代表者会) (中止) 23日 第52回代表委員会(AM) (Web評決) 23日 教員採用模試(AM) (自宅受験方式) 24日 第2回全国大会提案検討会 (中止) 30日	— — 48 47 —	第1回専門部会 (書面) 10日 第5回教育問題審議委員会 (中止) 12日 第83回評議員会(AM) (書面) 17日	4 — 2
6	第3回全国大会提案検討会 (中止) 13日 ●第2回教研大会運営委員会(総会) (中止) 20日 第1回スクールマネジメント研修 (動画配信) 20日	— — 119	第216回執行委員会 (Web会議・書面) 7日 第37回定期大会(東京)(AM) (書面) 7日 第4回教問審研究部会 (中止) 13～14日	2 5 —
7	第1回教師力向上研修(PM) (再延期) 25日 ●第3回教研大会運営委員会 (中止) (代表者会・前日準備)(PM) 31日	— —	二役会 第217回執行委員会(PM) (延期) 31日	— 1
8	第37回教育研究全国大会宮崎大会 (中止) (兼 第6回宮教研連のつどい) (延期) 1～2日 第2回スクールマネジメント研修 (書面) 29日	— 37	第37回教育研究全国大会宮崎大会 (中止) 1～2日 第217回執行委員会 (Web会議) 2日 臨時教問審研究部会 (Web会議) 15日 次期リーダー研修会(東京) (中止) 20～21日	— 2 1 —
9			第5回教育問題審議委員会 (Web会議) 8日 給与法制局局会議 (延期) 12～13日 教研大会引継会 (中止) 24日 第5回教問審研究部会 (Web会議) 26日	1 — — 1
10	第2回教師力向上研修(小林) (中止) 10日 臨時 支会長・理事長会(AM) (Web会議) 17日 第3回スクールマネジメント研修 (動画配信) 31日	— 24 31	給与法制局局会議 (Web会議) 3日 第2回専門部会 (Web会議) 11日 第6回教問審研究部会 (Web会議) 24日	1 4 1
11	第3回教師力向上研修(日向) (変更) 14日 第2回教師力向上研修 (Web研修) 14日	— 21	第218回執行委員会・局会議 (Web会議) 8日 役員選考委員会 (Web会議) 8日 教育ウェビナー (Web講演) 21日 役員選挙告示 29日	2 1 35 —
12	第1回教師力向上研修 (Web研修) 12日	26	第6回教育問題審議委員会 (Web会議) 8日 立候補者公示 25日	1 —
1	第4回教師力向上研修(PM) (変更) 24日 第6回宮教研連のつどい (Web講演) 24日	— 60	中華民国訪問研修 (中止) 3～7日 第219回執行委員会 (Web会議) 30日	— 2
2	第2回支会長・理事長会(AM) (Web&書面) 13日 第2回研究員研究会(PM) (Web会議) 13日	23 9	給与法制局局会議 (Web会議) 6～7日 第84回評議員会 (Web会議) 14日	1 2
3	令和2年度会計監査 13日	5		

●教研全国大会準備関係

◇動員がある全日教連研修会等

第2号議案 (報告) 令和2年度 宮崎県教育研究連合会 決算書

令和3年3月31日現在(最終)

<収入の部>

項目	予 算	決 算	増 減	備 考
繰越金	305,537	305,537	0	令和元年度(平31)からの繰越
会 費	13,224,000	13,396,800	172,800	月会費×12ヶ月×会員数(除:免除者)
雑収入	13	14	1	利息
合 計	13,529,550	13,702,351	172,801	

<支出の部>

項目	予 算	決 算	増 減	備 考	
会議費	総会費	50,000	49,376	△ 624	功労賞代等
	役員会費	80,000	49,067	△ 30,933	本部役員等旅費
	理事会費	120,000	45,105	△ 74,895	支会長、理事長等旅費等
	組織対策費	50,000	0	△ 50,000	
	小 計	300,000	143,548	△ 156,452	
事務局費	人件費	1,475,640	1,475,640	0	事務局給与
	消耗品費	120,000	60,190	△ 59,810	事務用品費、積算カウンター料など
	備品費	234,960	234,960	0	コピーリース代
	借損費	372,000	372,000	0	事務室使用料、機械警備(アルソック)代
	通信運搬費	350,000	386,472	36,472	電話、輸送、郵送料代等
	小 計	2,552,600	2,529,262	△ 23,338	
印刷費	会報費	10,000	0	△ 10,000	
	名簿作成費	10,000	3,417	△ 6,583	会員名簿用紙代
	研究紀要費	10,000	0	△ 10,000	
	諸印刷費	10,000	8,000	△ 2,000	角2封筒(500枚)印刷代等
	小 計	40,000	11,417	△ 28,583	
研修費	講演会費	400,000	97,206	△ 302,794	講演謝礼、事前打合せ通信費補助等
	支会助成費	243,000	243,100	100	支会活動への助成金
	教育研究全国大会	1,000,000	0	△ 1,000,000	
	全日教連定期大会	35,000	0	△ 35,000	
	九州ブロック会議費	0	0	0	
	教育シンポジウム研修費	30,000	18,764	△ 11,236	教文研教育ウェビナー参加経費
	中央研修行動費	230,000	6,717	△ 223,283	諸会合通信費補助等
	研究活動費	250,000	145,914	△ 104,086	研究、研修関係経費
小 計	2,188,000	511,701	△ 1,676,299		
全日教連会費	6,804,000	6,804,000	0	810円×12ヶ月×会員数	
教文研会費	1,428,000	1,428,000	0	170円×12ヶ月×会員数	
雑 費	140,000	228,431	88,431	社会保険、労災保険、慶弔費等	
退職引当金	50,000	50,000	0	退職引当金へ	
予 備 費	26,950	831,000	804,050	令和2年度会費一部返金(各支会へ)	
計	8,448,950	9,341,431	892,481		
合 計	13,529,550	12,537,359	△ 992,191		

収入合計	支出合計	残 高
13,702,351	12,537,359	1,164,992

監 査 報 告

校長会館において令和2年度宮崎県教育研究連合会の会計と事業の執行に関して監査を実施しました。

その結果、通帳、収支記録等の関係書類は正確に処理され、異常のないことを認めました。また、本会の事業に関しても目的達成のために適切にかつ計画通り実施されたことを確認いたしましたので報告いたします。

令和3年3月18日

監 事

吉留 勝史



監 事

押川 忠徳



監 事

佐島 鉄朗



第3号議案 規約改正(案) 県役員体制強化について

(提案理由)

ここ最近、教職員の減少に伴う会員の減少に歯止めがかからず、事業の運営に支障を来している状況がある。そこで、県役員組織体制を強化し、事業改革を推進するための最初の手立てとして、副理事長を現行2名から、3名に増員し、県本部組織体制の強化を図り、事業の改革に着手したい。

なお、今後、県本部役員会や組織対策会議等において、宮教研連の組織体制や事業改革についての議論を深め、時代の流れに適合した宮教研連の在り方を模索していく。

<提案内容>

規約第13章を、以下のように改正する。(改正部 下線)

改正前	改正後
第13条 この会に、次の役員を置く。但し、副会長は各ブロックの代表4名と女性職員1名で構成する。 ○ 会長（1名） ○ 副会長（5名） ○ 理事長（1名） ○ 副理事長（2名） ○ 理事（若干名） ○ 監事（3名） ○ 会計（1名）	第13条 この会に、次の役員を置く。但し、副会長は各ブロックの代表4名と女性職員1名で構成する。 ○ 会長（1名） ○ 副会長（5名） ○ 理事長（1名） ○ 副理事長（ <u>3</u> 名） ○ 理事（若干名） ○ 監事（3名） ○ 会計（1名）

令和3年度 本部役員（案）

R3.4.27

役 職	氏 名	勤務校(役職)	備考
会 長	花宮 伸利	国富小学校 (校長)	新任
副 会 長	島木 良浩	住吉南小学校 (校長)	新任
	秋田 整	石山小学校 (校長)	新任
	白地 浩	財光寺南小学校 (校長)	新任
	尾崎 浩一	押方小学校 (校長)	新任
	瀬戸山由香里	安久小学校 (校長)	新任
理 事 長	横山 登	住吉南小学校 (教諭)	再任
副 理 事 長	鶴久 敬介	檜小学校 (教諭)	再任
	坂元 堅	檜小学校 (教諭)	再任
	興梠 大輔	塩見小学校 (教諭)	新任
会 計	新名 博	檜小学校 (教頭)	新任
監 事	山本 章博	西池小学校 (教頭)	新任
	吉留 勝史	広瀬西小学校 (教頭)	再任
	横山 博章	宮崎西中学校 (教頭)	新任
事 務 局 長	梶木 満	宮教研連事務局長	新任
顧 問	古木 克浩	宮崎東中学校 (校長)	県校長会会長
	山口 昇	西池小学校 (校長)	県校長会副会長

<専門部>

組織部	部長	大脇 一洋(赤江小)	研修部	部長	増岡三四郎(大宮中)
	副部長	(-)		副部長	(-)
広報部	部長	安治川洋平(那珂小)	厚生部	部長	興梠 大輔(塩見小)
	副部長	星原 智行(延岡・西小)		副部長	緒方 宏文(宮大附属小)
女性教職員部	部長	谷口 洋子(江平小)	青年部	部長	雨崎 雄(綾小)
	副部長	秋岡 裕子(南郷小)		副部長	(-)
特別支援教育部	部長	西脇眞由美(梅北小)	事務職員部	部長	森山 成貴(檜小)

<全日教連関係>

副 委 員 長	花宮 伸利(国富小)	教問審研究部員	増岡三四郎(大宮中)
執 行 委 員	横山 登(住吉南小)	管理職員部員	尾崎 浩一(押方小)
監 査 委 員	田中ちどり(檜小)	事務職員部員	森山 成貴(檜小)
評 議 員	興梠 大輔(塩見小)	特別支援教育部員	西脇眞由美(梅北小)

第4号議案

◆副会長輪番表

年度	支会	宮崎	南那珂	都北	西諸	西都児湯	日向	延岡	西臼杵	女性管理職
令和元年度		●		●	●		●			●
令和2年度		●	●			●		◆		●
令和3年度		●		●			●		◆	●
令和4年度		●	◆		●			●		●
令和5年度		●		◆		●			●	●
令和6年度		●	●		◆		●			●
令和7年度		●		●		◆		●		●
令和8年度		●			●		◆		●	●

●:副会長 ◆:副会長・全日教連管理職員部員

令和3年度 役員等名簿

(1) 表彰者

本部	梶木 満		
宮崎	水永 正宗	西都児湯	—
南那珂	—	日向	安治川 洋平
都北	竹下 龍佑	延岡	濱砂 一徹
西諸	—	西臼杵	興梠 良治

(2) 支会長・理事長

支会	支 会 長	理 事 長
宮崎	島木 良浩(住吉南小)	三ヶ尻 和弘(檉小)
南那珂	仲衛 慎一(秋山小)	真方 悟史(秋山小)
都北	秋田 整(石山小)	佐藤 祐二(梶山小)
西諸	衛藤 慎二(細野小)	杉山 真一(西小林小)
西都児湯	佐藤 健一郎(木城中)	▲()
日向	白地 浩(財光寺南小)	宮下 裕一(美々津小)
延岡	柳瀬 智文(南方小)	東坂 将秀(岡富小)
西臼杵	尾崎 浩一(押方小)	濱田公一郎(高千穂小)

(3) 研究員・教研全国大会発表者

研 究 員(R2~R3)		研 究 員(R3~R4)	
宮崎	吉井 湧人(檉小)	南那珂	▲
西諸	緒方 啓亮(飯野小→穂北小)	都北	原 圭史(都城・南小)
日向	福島 龍太郎(財光寺小→大塚小)	西都児湯	▲
西臼杵	馬原 巧平(高千穂小)	延岡	▲
教研全国大会発表者		南那珂	宮田美奈子(南郷中)

※ ▲:4月28日までに確認が取れなかった部分

令和3年度 努力目標 (案)

宮崎県民の負託に応え、質の高い教育を提供するための研修活動の充実

ミッションステートメント: 魅力ある研修を通して、人と学びをつなぎ、同時に人と人をつなぐ

令和3年度 努力目標
<p>【組織の強化・拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新規会員の加入促進と組織の強化・拡大のための活動の充実 <p>【研修の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 質の高い教育を提供するための研修の充実、各種研修活動への積極的参加

令和3年度の具体的取組	
<p>【研修の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮教研連研究員制度の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① 研究員の委嘱 R2年度 宮崎・西諸・日向・西臼杵 4名 R3年度 南那珂・都北・西都児湯・延岡 4名 ② 研究員への研究支援 ・本部での全体研究会 ・各支会の個別研究会 ・教研全国大会への派遣 ③ 研究成果の普及 ・各支会での研究発表会 ・「宮教研連のつどい」での発表(R2研究員) ・研究紀要(Web版)の発刊(R2研究員) ○ 教職員のキャリアステージに対応した魅力ある研修活動の強化、充実 <ul style="list-style-type: none"> ① 教師力向上研修 若手教員を対象に、宮崎・小林・延岡での4回の研修会の開催 ② スクールマネジメント研修 中堅・ミドルリーダーを対象に、3回の研修会の開催 ③ 宮教研連のつどい(全国大会に兼ねる) ・研究員研究発表 ・教育講演 ○ 教育研究全国大会(香川県)(R3.8/1~2)の参加 << 提案発表者 >> ・第6分科会「特別支援教育」 宮田美奈子教諭(日南市立南郷中) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全日教連・教文研主催研修等への派遣 ・次期リーダー研(東京都、R2.8/20~21) ・教育シンポジウム(兵庫県、R2.11/22) ・中華民国(台湾)訪問研修 ○ 日本教育文化研究所への会員派遣 ・教育問題審議委員会への参加 ・教育問題審議委員会研究部会研究員委嘱(R3~4) ・研究実践の紙上発表(「教育創造」) ○ 「教育創造」「教育新聞」の原稿執筆 <p>【組織の強化・拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新規会員獲得に向けた取組 ・会費減免大幅拡充を含む会員獲得策の検討(組織対策会議) ・魅力ある組織作りに向けた長期計画の策定 ・教員採用模試の実施 ・若手会員や再任用会員の獲得強化 ○ 各支会における厚生・親睦活動の実施 ・功労者・退職者表彰 ・情報交換会等の開催 ○ 組織活性化のための情宣活動 ・宮教研連広報誌(Web版)の発行 ・宮教研連を紹介するちらし等の作成、配布 ・ホームページ、ブログ等の Web サイトやメールグループによる情報発信の強化・拡充 ○ 全日教連共済会各種保障制度への加入促進 ・「訴訟費用保険」 ・「積立年金制度」 ・「収入保障制度」

新しい価値を創造する力を育む教育の実践

~自らの考えを広げ深める子どもの育成を通して~

第5号議案(2)

令和3年度 事業計画 (本県関係事業は、宮崎県の感染症警戒レベル1で、想定)

R3.4.20

月	宮崎県教育研究連合会	全日教連関連行事
4	第1回教師力向上セミナー(AM)(W) 24日 第1回研究員研究会・第1回全国大会提案検討会(PM) 24日	全日教連二役会・本部役員会(W) 10日 第220回執行委員会・局会議(W) 17~18日 令和2年度監査(PM) 24日
5	教員採用模試(AM)(在宅受験) 22日 第2回全国大会提案検討会(PM)(W) 22日 第1回支会長・理事長会(AM)(書面) 29日 第53回代表委員会(PM)(書面) 29日	第1回教育問題審議委員会(W) 13日 第1回専門部会(W) 16日 専門部要請行動(本部役員のみ) 17日 第85回評議員会(AM)(W) 23日 積立年金制度申込締切 31日
6	第3回全国大会提案検討会(PM)(H) 26日 第1回スクールマネジメント研修(AM)(H) 26日	第221回執行委員会(W) 12日 ◇第38回定期大会(東京)(AM)(W) 13日 第1回選挙管理委員会(PM)(W) 13日 第1回教問審研究部会(W) 19日 訴訟費用・収入保障制度申込締切 30日
7	第2回スクールマネジメント研修(PM)(H) 31日	
8	第7回宮教研連のつどい(PM)(W) 28日	第222回執行委員会 6日 ◇第38回教育研究全国大会香川大会 7~8日 ◇単位団体長・次期リーダー研修会(東京) 19~20日
9		給与法制局局会議(W) 11日 第2回教育問題審議委員会(W) 14日 第2回教問審研究部会(W) 25~26日 教研大会引継会(W) 30日
10	第2回理事長会(PM)(W) 16日 第2回教師力向上セミナー(小林)(PM)(H) 30日	前期監査(PM) ?日 第2回専門部会(W) 9日
11	第3回教師力向上セミナー(日向)(PM)(H) 27日	役員選考委員会(AM)(W) 6日 第223回執行委員会・局会議 6~7日 ◇教育シンポジウム兵庫 20~21日 役員選挙告示 24日 積立年金制度申込締切 30日
12	九州ブロック会議 11~12日	第3回教育問題審議委員会(W) 1日 ◇九州ブロック会議(宮崎市) 11~12日 立候補者公示 25日 訴訟費用・収入保障制度申込締切 24日
1	第3回スクールマネジメント研修(PM)(W) 22日	◇中華民国訪問研修 3~7日 第3回教問審研究部会 15日 第224回執行委員会 29日 第84回評議員会・第2回選挙管理委員会 30日
2	第2回支会長会・第3回理事長会(AM)(H) 19日 第2回研究員研究会(PM)(H) 19日	給与法制局局会議 5~6日
3	令和3年度会計監査 12日	

書面:書面によるWeb評決

W:Web 無印:対面

H:Webと書面のハイブリッド開催

◇動員がある全日教連研修会等

令和3年度 宮崎県教育研究連合会 予算(案)

<収入の部>

項 目	令和2年度予算	令和3年度予算	増 減	備 考
繰 越 金	305,537	1,164,992	859,455	前年度からの繰越
会 費	13,224,000	11,904,000	△ 1,320,000	1,400円×12ヶ月×会員数760名 ※新規会員、3年割会員は、会費一部免除
助 成 金		260,000	260,000	弘済会・教文研
寄 付 金		10,000	10,000	Wifi契約払戻金
雑 収 入	13	13	0	利息
合 計	13,529,550	13,339,005	△ 190,545	

<支出の部>

項 目	令和2年度予算	令和3年度予算	増 減	備 考
事 業 費	1,973,000	926,000	△ 1,047,000	
研 修 費	660,000	460,000	△ 200,000	
研 究 大 会 費	400,000	250,000	△ 150,000	宮教研連のつどい 講師料他
研 修 会 費	170,000	120,000	△ 50,000	各種主催研修会費
研 究 活 動 費	80,000	80,000	0	研究員研究諸経費 @¥15,000 他
研 究 紀 要 費	10,000	10,000	0	関係機関配布用冊子作成費
支 会 研 修 助 成 費	243,000	236,000	△ 7,000	@¥20,000+¥100×会員数
全 国 研 修 費	1,030,000	180,000	△ 850,000	
教 研 全 国 大 会 費	1,000,000	100,000	△ 900,000	教研全国大会経費等(香川)
教 育 シ ン ポ ジ ヴ ム 費	30,000	30,000	0	教育シンポジウム旅費等(兵庫)
ブ ロ ッ ク 研 修 費	0	40,000	40,000	九州ブロック会議(宮崎)
中 央 研 修 費	0	10,000	10,000	次期リーダー研、単位団体長研等
広 報 費	10,000	10,000	0	
組 織 対 策 費	30,000	10,000	△ 20,000	組織対策会議旅費、情報交換会補助等
福 利 厚 生 費	0	30,000	30,000	
管 理 費	3,287,600	3,332,960	45,360	
会 議 費	270,000	160,000	△ 110,000	
総 会 費	50,000	50,000	0	感謝状、功労賞代等
役 員 会 費	80,000	50,000	△ 30,000	本部役員会等旅費
理 事 会 費	120,000	50,000	△ 70,000	支会長、理事長会旅費等
諸 会 議 費	20,000	10,000	△ 10,000	
消 耗 品 費	120,000	80,000	△ 40,000	事務用品費
印 刷 製 本 費	20,000	20,000	0	各種印刷、名簿印刷他
旅 費 交 通 費	265,000	130,000	△ 135,000	
旅 費	0	30,000	30,000	役員等旅費
交 通 費	35,000	30,000	△ 5,000	役員等交通費
行 動 費	230,000	70,000	△ 160,000	役員等行動費
通 信 運 搬 費	350,000	400,000	50,000	電話、輸送、切手代、宅急便代等
人 件 費	1,655,640	1,926,000	270,360	
給 与 手 当	1,475,640	1,476,000	360	事務局給与
退 職 給 付 費	50,000	50,000	0	退職給付積立
保 険 料	130,000	400,000	270,000	社会保険、労災保険
備 品 費	0	10,000	10,000	電話機交換
借 損 費	606,960	606,960	0	
使 用 賃 借 料	372,000	372,000	0	事務室家賃、機械警備(アルソック)代
リ ー 入 料	234,960	234,960	0	複合型コピー機等リース
負 担 金	8,232,000	8,026,800	△ 205,200	
全 日 教 連 会 費	6,804,000	6,609,600	△ 194,400	¥810×12カ月×会員数
教 文 研 会 費	1,428,000	1,387,200	△ 40,800	¥170×12カ月×会員数
そ の 他	0	30,000	30,000	青少年育成県会議、みやざき社会教育生涯学習研究会、他
予 備 費	26,950	1,000,000	973,050	年度当初運営資金(@¥250,000×4月)
雑 費	10,000	53,245	43,245	
合 計	13,529,550	13,339,005	△ 190,545	

令和3年度宮崎県教育研究連合会研究員制度

令和3年5月7日

宮崎県教育研究連合会研修部

1 目的

- 宮教研連の活動の中核となる研修活動の充実を期して、毎年発行する研究紀要における紙上発表や、本部・各支会等の研究発表大会における研究発表等を通して、研究成果の普及を図り、会員の力量の向上に資する。(後援:宮崎県教育委員会)

2 研究員制度

- (1) 研究員：4名（4支会から各1名(1グループ)を出す。残りの4支会は次年度。)
- (2) 研究期間：2か年の研究期間（実質1年半）とする。

R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
宮崎 西諸 日向 西臼杵	研 研 究 究 紀 発 要 表	宮崎 西諸 日向 西臼杵	研 研 究 究 紀 発 要 表	宮崎 西諸 日向 西臼杵
	都 北 延 岡 南 那 那 珂 西 都 都 児 湯	研 研 究 究 紀 発 要 表	都 北 延 岡 南 那 那 珂 西 都 都 児 湯	研 研 究 究 紀 発 要 表

(3) 研究体制 県本部からの研究支援体制の拡充

- ・ 研究員1年次には、必要に応じて県教委指導主事や大学教授陣等のサポートを受けつつ、支会主導で研究を推進し、より質の高い研究を目指す。
- ・ 1年初旬に研究論文（未完成でも可）を提出いただき、半年掛けて十分に練った上で、2年次6月を目処に、教研大会発表資料として製作する。
- ・ 発表者は、「検討会」（3回実施）において、発表準備（報告書推敲とプレゼン検討、発表練習等）を行う。1年次研究員は、3回のうち、いずれかに参加し、研究の参考とする。

<県本部研究推進組織>

役割	仕事内容	分担者
統括責任者	統括と助言	会長
責任者	連絡・調整	本部研修部長・副部長
研究者・発表者	研究・発表	研究員・発表者
協力員	研究への協力 資料準備等	本部役員、支会役員、前年度発表者、その他

※ その他の協力員とは、発表者及び会長が研究推進のために必要と考える人員で、人数に制限はしない。各支会で、研究員とともに取り組める人員を確保する。本部の研究会等への出席の際の旅費は、本部で負担する。

3 研究に係る費用について

- 旅費(代表委員会と研究員研究会の会費)は、できる範囲内を本部で負担する。
- 研究助成金を2万円(個人もグループも同額)補助する。

4 研究内容について

- 個人研究またはグループ研究とし、研究内容については下記の方向性を踏まえたもので、今日的教育課題に即応したものとする。

- 教育研究全国大会での基調提案(別紙)を視野に入れた研究とする。
- 過去に発表したものは該当しない。校内研究をもとにして、研究主題等を個人やグループで新たに設定したものは可とする。
- 例年、研究領域が教科指導に偏るため、全国大会を視野に入れ、集中しないよう調整する。
- ※ 「健康教育」には 体力向上面(体育指導)の側面もある。
- ※ 該当する研究内容がない場合は、過去に該当内容を研究した会員に依頼したり、支会に依頼して研究プロジェクトを立ち上げたりして取り組む。

理念 美しい日本人の心を育てる	主題「新しい価値を創造する力を育む教育の実践」 ～自らの考えを広げ、深める子どもの育成を通して～
研究内容	学習指導A 我が国と郷土の歴史や伝統・文化への理解を深める学習指導
	学習指導B 学びの連続性の中で、確かな資質・能力を育む学習指導
	道德教育 道德科を要とする豊かな人間性を育む心の教育
	健康教育 「食育」「保健」「体育」を通した生活習慣の改善を図る教育
	学校マネジメント 学校における働き方改革の達成と「社会に開かれた教育課程」の実現
	特別支援教育 個に応じ、能力を伸ばす特別支援教育

5 研究員研究の進め方について

日程	行事	R2期	R3期
R3.4/24(土)	第1回研究会 (全国大会提案検討会)	研究論文検討 (全国大会等発表への準備)	制度の趣旨や研究の進め方、論文の書き方等の説明
R3.5/22(土)	(全国大会提案検討会)	プレゼン内容検討 (全国大会等発表への準備)	主題・副題・仮説・研究内容・研究計画の検討
R3.5/29(土)	代表委員会	研究員の紹介	研究員の紹介
R3.6月		研究紀要(ダイジェスト版)発行	
R3.6/26(土)	(全国大会提案検討会)	(全国大会等発表の最終確認)	「研究計画書」提出
7月	研究会(支会)	研究発表準備	研究の方向性・内容・研究方法等の検討・修正、決定
R3.8/7(土)	教育研究全国大会	大会参加(研究発表)	大会参加
R3.8/28(土)	宮教研連のつどい	研究発表	大会参加
9～12月	研究会(支会)	論文のWeb公開	研究経過中間報告(研究部長より連絡)
R4.1月			全国大会発表者決定
R4.2/19(土)	第2回研究会 (支会長会終了後)		研究論文仮提出(未完でも可) 研究論文の内容検討
R4.3/11(金)	研究論文提出		
R4.4月	第1回研究会 全国大会提案検討会		研究論文検討 (全国大会発表への準備)
R4.5月	全国大会提案検討会		プレゼン内容検討 (全国大会発表への準備)
R4.6月	全国大会提案検討会		全国大会発表の最終確認
R4.8月	教育研究全国大会		研究発表
	宮教研連のつどい		研究発表

6 / 26 (土) までに「研究計画書」を提出
提出先 miyakyoukenren@royal.ocn.ne.jp
宮教研連本部事務局 宛て

宮教研連 研究員担当 本部研修部 増岡三四郎 (宮崎市立大宮中学校)
連絡先 電話 0985-24-4518(大宮中) 0985-24-4508(教研連事務局)
Mail 346@miyzaki-c.ed.jp (大宮中・増岡)
miyakyoukenren@royal.ocn.ne.jp (宮教研連事務局)

令和3年度 宮教研連 教師力向上セミナー（案）

1. 研修の目的

- 県下の教職員（講師・教師を目指す大学生を含む）を対象とし、本県教育を支えるための教師力向上（主に教科指導力等）を高める研修を通して、本県教育の課題解決に寄与できる判断力、行動力をもった教師を育成する。
- 教職員の情報交換や交流を促進し、たて横のつながりを深め、本県教育がより発展するための研修の場とする。

2. 主催：宮崎県教育研究連合会

3. 後援：宮崎県教育委員会（予定）

4. 年間実施計画（予定）

回	日時	会場	講師	研修内容・備考
1	4月24日(土) 10:00~12:30	Zoom	耒住祐子先生 (宮崎小学校)	学級経営について 他
2	10月30日(土) 13:00~15: 30	小林市内 (or Zoom)	未定	未定
3	11月27日(土) 13:00~15:3 0	日向市内 (or Zoom)	未定	未定

5. その他

- * 教師力向上を掲げた研修として、学級経営や教科指導、特別支援、道徳の授業に関わる研修を行う予定である。
- * 宮崎・西諸・日向等の各支会との連携も検討したい。
(令和2年度の予定地区で実施できなかったため、今年度に実施の予定)
- * 非会員にも広く周知し、会員獲得にもつなげたい。
- * 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえて、Zoomなどを活用したオンライン研修会の開催を検討する。

令和3年度 宮教研連「スクール・マネジメント研修」(案)

R3.4.20

1 研修の目的

- 管理職や中堅職員を対象として、本県教育の課題解決に繋がる研修を行い、学校の機能強化に資する判断力や行動力をもった教師を育成する。
- 様々な分野から講師を招いた研修をすることで、会員の見識が広がることを期待し、資質の向上を図る。
- スクールマネジメントに係わる研修を行い、情報交換や交流を促進し繋がりを深めることで、次世代のリーダーとなるべき人材の育成を図る。

2 主催:宮崎県教育研究連合会

3 後援:宮崎県教育委員会(予定)

4 実施計画

第1回	日時	9:50～	10:00～11:00	休息	11:10～12:00	～12:10	備考
	6月26日(土)	受付	講話		演習	閉会行事	
	研修テーマ	スクールマネジメントの基本 ～管理職試験対策とケーススタディ～					
	会場	宮崎市内		講師	宮教研連事務局長		

第2回	日時	12:30～	13:00～13:45	休息	14:00～14:55	～15:00	備考
	7月31日(土)	受付	講演		講演	閉会行事	
	研修テーマ	未定					
	会場	宮崎市内		講師	未定		

第3回	日時	12:30～	13:00～13:45	休息	14:00～14:55	～15:00	備考
	1月22日(土)	受付	講義		講義	閉会行事	
	研修テーマ	未定					
	会場	宮崎市内		講師	未定		

5 その他

- 民間企業で活躍する人物や有識者(大学教授、県教委OB等)を講師に招聘し、参加者に充実感を味わってもらうようにする。
- スクールマネジメント研修には、参加を希望する一般会員も参加できる。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえて、Web会議や動画配信等を活用したオンライン研修会の開催を検討する。

令和3年度第7回「宮教研連のつどい」 実施計画案

R3.4/17

1 趣旨

- (1) 創設以来半世紀以上の歴史を踏まえ、新たな気持ちで会員の所属意識並びに会員としての自覚と誇りを一層深める。
- (2) 会員各位が教育専門職であることの誇りと自覚を持つとともに、宮教研連会員であることの所属意識を高める場とし、研修を通じて本県教育の充実と発展に寄与する。
- (3) 研修を通して、日々の教育実践に生かせる情報を得ることで、教師としての資質向上に資する一助とする。
- (4) 全県の会員で研修を行うことにより、本部と各支会及び各支会間の連携強化と会員相互の連帯を深める機会とする。

2 主催 宮崎県教育研究連合会／宮崎県教育研究連合会宮崎支会

3 後援 宮崎県教育委員会

(予定) 全日本教職員連盟
宮崎縣市町村教育委員会連合会
宮崎県P T A連合会

4 協賛 公益財団法人 日本教育公務員弘済会宮崎県支部

(予定) 日本教育文化研究所

5 テーマ 令和の日本型教育の在り方を問う（仮題）←講師の演題にあわせて変更する

6 期日 令和3年8月28日（土）

7 会場 オンライン開催 主会場：未定（宮崎市内）

8 日程

12:30	13:00	13:20	14:15	16:30
	13:15	14:00	16:15	
受付	開会 行事	研究発表	休息	記念講演
				閉会 行事

12：30～13：00 受付

13：00～13：15 開会行事 開会の言葉
あいさつ
祝辞

13：20～14：00 研究発表 発表(20分)
質疑・協議(20分)

14：15～16：15 記念講演 講師紹介
講演・質疑
お礼

16：15～16：30 閉会行事 閉会の言葉
諸連絡

新型コロナウイルス感染症対策に伴う 宮教研連主催研修会等の開催ガイドライン(Ver1.3)

令和2年11月1日改訂
宮崎県教育研究連合会

1 はじめに

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う宮崎県の対応指針(改定案)(R2.5.26)を踏まえ、宮崎県教育研究連合会(以下「宮教研連」と略す)主催の研修会等の開催や運営に関する新型コロナウイルス感染予防対策として留意すべき基本的事項を整理したものである。

県の対応方針においては、「感染リスクはゼロにならないことを前提(コロナとともに生きていく)に、「感染拡大の防止」と「社会経済活動の維持・再生」の両立を目指す」とされていることに鑑み、宮教研連としても、同様の考え方のもと、各種研修会等を開催・運営する場合の前提となる感染予防対策に関する基本的事項を定めることとする。

なお、研修会等を中止する場合、職能団体・研修団体である宮教研連の存在意義を踏まえ、会場に行かなくても、研修会等を在宅で受講することができるよう、オンライン講座や動画配信等のオンラインコンテンツ公開を推進する。

また、本ガイドラインの内容は、今後の県の対応方針の変更のほか、感染拡大の動向や専門家の知見等を踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものとする。

2 本ガイドラインの適用対象と適用期間

(1) 本ガイドラインが適用される対象は以下とする。(総称して「研修会等」とする。)

- ・ 宮教研連の県本部が主催する会議等
- ・ 同 研修会・研究大会等
- ・ 宮教研連の県本部役員会等

(2) 適用期間

本ガイドラインの適用期間は、令和3年度末までとする。なお、感染症の状況に応じて、この期間は、短縮、または、延長することがある。

3 感染防止のための基本的な考え方

宮教研連は、利用施設の各種規定を踏まえた上で、研修会等の主催者・運営委員・参加者(以下、「参加者等」という。)への新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、最大限の対策を講ずるものとする。

特に、①密閉空間(換気の悪い密閉空間である)、②密集場所(多くの人が密集している)、③密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)という3つの条件(いわゆる「三つの密」)のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられ、これを避けることなど、自己への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底した対策を講ずるものとする。

なお、教職員という立場から、仮に感染した場合、所属校やその児童・生徒等に与える影響が非常に大きいことを踏まえ、確実な対策を講ずるものとする。

4 研修会等の開催有無に係る対応

原則として、ワクチン等が普及し、感染症拡大への不安が払拭されるまでの間は、20名以上の者が集まる場合、または、全県を跨いで集まる場合は、開催方法の変更を考慮することとする。

研修会等の開催有無に関して、開催日4週間以降の新型コロナウイルス感染症の感染状況をもとに、以下の対応とする。

警報状況	警報の目安（県の基準）		研修会等の開催有無
レベル0 （持続的な警戒）	感染者の全ての濃厚接触者の健康観察期間が終了し、新たな感染者が出ていない		感染に留意しつつ、開催する （開催方法変更も考慮する） （以下5の対策を実施） 開催の中止・延期、 開催方法の変更 等 （Webinar方式、 ライブ・録画配信等）
レベル1 （警報）	各圏域において、新規感染者が一定に収まっている	新感染者：1名/週 新感染者：複数/週	
レベル2 （特別警報）	各圏域において、新規感染者の増加、感染経路不明の例が連続、集団感染の発生		
レベル3 （感染拡大緊急警報）	各圏域において、新規感染者・感染経路不明の例の急増、集団感染の発生		
レベル4 （緊急事態宣言）	全県において、新規感染者又は感染経路不明の例の急増、集団感染の連続、入院病床稼働率の逼迫		

※開催の市町村が隣県と接している場合、隣接する県の状況も、上表に準じて考慮する。

5 研修会等の運営に際して講じるべき具体的な対策

研修会等の運営に際して、屋内での実施を想定して、以下の対策を行う。

① 総論

- 感染拡大防止策を徹底することが重要であり、人との接触を極力避け、対人距離を最低1m（できるだけ2mを目安に）確保する。
座席数を減らして間隔を空け、互い違いに着席するなどの対策を講じる。
- 感染防止のための参加者等の制限のため、以下のような手段を講じる。
 - ・会場の収容定員に対し、収容率が50%以下とするよう、参加者等を限定する。
 - ・当分の間、参加者等の上限を1会場あたり100名程度（主催者・運営委員を含む）とする。
- 研修会等の開催については、緊急性・必要性等を検討し、できるだけ、紙面上やオンライン等での実施へ切り替える。

② 参加者等の安全確保のために実施すること

- 参加者等に対し、以下に該当する者の参加を制限する。
 - ・37.5度以上の発熱がある場合（または平熱比1度超過）
 - ・咳、咽頭痛、頭痛、息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ等の症状がある場合
 - ・過去14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・国内のいずれかの地域に緊急事態宣言が出されている状況下で、過去14日以内に国内の対象地域への旅行がある場合
- 参加者等の氏名及び緊急連絡先、および、体温や上記の確認事項を把握する。また、参加者等に対して、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知するなど、個人情報を適切に取り扱う。
具体的には、参加者等には、受付時等に、別紙に示す個票の記入・提出を依頼する。
- 感染防止対策として、咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底を促す。参加者等に、事前に周知を図っておくこと。

③ 研修会等の運営に当たって特に留意すべきこと

- ・ 座席は、原則、スクール形式またはシアター形式とする。(全て、一方向向き)
- ・ 講師等については、原則、県内からの招聘とする。
- ・ 直接手で触れることができる展示物等は展示しない。
- ・ 資料やパンフレット等は、手渡しでは配布しない。
- ・ 個人での作業を除く実習・実験、近距離での会話(ペア・グループ活動を含む)、大きな発声、歌唱、及び、運動等を伴う研修は、実施せず、内容と方法を変更する。
- ・ 会場内の一か所に大勢の人数が滞留しないための措置を講じる。(受付時は間隔をあける等)
- ・ 研修会等の主催者は、予備マスク、予備体温計、消毒薬、ペーパータオル、ビニル手袋など必要な対策用品を、事前に準備しておく。

④ 感染が疑われる者が発生した場合、以下のとおり対応する。

- ・ 速やかに、施設関係者に連絡を行い、感染が疑われる者を別室へ隔離する。
- ・ 対応する者は、マスクや手袋の着用等適切な防護対策を講じた上で対応する。
- ・ 感染が疑われる者が発生した部屋の換気を行う。
- ・ 主催者は保健所等へ連絡し、消毒や濃厚接触者調査の指示を受ける。
- ・ 感染が疑われる者と接触した参加者等の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成する。
- ・ 症状が重篤な場合は、保健所とも相談し、医療機関へ搬送する。

令和3年度 宮崎県教育研究連合会主催事業の実施方法について							
事業名	期日	実施方法					
		—	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
		警戒なし	持続的な警戒	警報	特別警戒	感染拡大緊急警報	緊急事態宣言
支会長会 (理事長会)	R3.5.29	対面	対面/Web	Web/書面	Web/書面	書面	書面
	R3.10.16	対面/Web	Web/書面	Web/書面	Web/書面	書面	書面
	R4.2.19	対面/Web	Web/書面	Web/書面	Web/書面	書面	書面
代表委員会	R3.5.29	Web/書面	Web/書面	Web/書面	Web/書面	書面	書面
本部役員会		対面/Web	対面/Web	対面/Web	Web/書面	書面	書面
教師力 向上セミナー	R3.4.24	対面	対面/Web	Web	Web	Web	Web/自粛
	R3.10.16	対面	対面/Web	Web	Web	Web	Web/自粛
	R3.11.27	対面	対面/Web	Web	Web	Web	Web/自粛
スクールマネジメント研修	R3.6.26	対面	対面/Web	Web	Web	Web	Web/自粛
	R3.7.31	対面	対面/Web	Web	Web	Web	Web/自粛
	R3.1.22	対面	対面/Web	Web	Web	Web	Web/自粛
つどい	R3.8.28	対面	対面/Web	Web	Web	Web	Web/自粛
教員採用模試	R3.5.22	対面/在宅	対面/在宅	在宅	在宅	在宅	在宅/自粛
研究員研究会	R3.5.29	対面	対面/Web	Web/書面	Web/書面	書面	Web/自粛
	R4.2.19	対面	対面/Web	Web/書面	Web/書面	書面	Web/自粛
全国大会 提案検討会	R3.4.24	対面	対面/Web	Web/書面	Web/書面	書面	Web/自粛
	R3.5.22	対面	対面/Web	Web/書面	Web/書面	書面	Web/自粛
	R3.6.26	対面	対面/Web	Web/書面	Web/書面	書面	Web/自粛

Zoomアカウントの支会での使用について

宮教研連本部では、新型コロナウイルス感染症の拡大への対応のため、Zoomのアカウントを年間契約しております。しかし、県本部でも、毎月、数回の使用にとどまっています。そこで、せっかく、有料で契約しますので、有効に活用するため、以下のような要領で、県本部が契約したアカウントを、ご希望の支会等で利用できるように致します。

○ 利用規定

- ・ 利用は、県本部の利用に支障のない範囲で行います。利用は4時間以内です。
- ・ 利用できるのは、以下の通りとします。私用には使えません。
 - ・ 支会主催の研修や会議等（回数の制限なし）
 - ・ 会員である管理職が代表者を務める研究団体が主催する研修会等（各団体年2回以内）
- ・ 利用には、料金は頂きません。ただし、回線使用料等、経費は、各支会負担です。
- ・ 接続確認後、ホストを支会に委譲します。その後、県本部は回線を切る場合があります、途中、不具合があっても対応はいたしません。
- ・ 接続や使い方等への技術的支援はできません。

○ 利用手順

① 利用予約

利用日時を宮教研連事務局へ電話で予約してください。先着順（県本部の利用を優先）に受け付けます。予約確定後、申込書を提出ください。

② ミーティングIDとパスワードの連絡

利用日の1週間前までに、ミーティングIDとパスワード、及び、URLを連絡します。

③ ミーティングの開始

利用時間30分前までに、県本部の方でミーティングを開始します。

開始後、主催者へ電話連絡を行い、ミーティングに入ってください。

主催者がミーティングに入ったことを確認後、ホストを委譲します。

④ ミーティングの終了

ミーティングが終了後、宮教研連事務局に、終了したことをご連絡ください。

宮教研連 Zoom 利用申込書

支会名		受付日時 (本部記入)	令和	年	月	日
担当者名		電話番号	—	—		
メールアドレス						
利用日時	開始：令和 年 月 日 時 分			利用時間		
	終了：令和 年 月 日 時 分			約	時間	分
利用人数	約 名	主会場				
利用目的						
その他						

会員各位

宮崎県教育研究連合会
会長 花宮 伸利
(会長代行)

宮教研連広報メールグループ(MKKR-MG)への加入について(ご案内)

時下 会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、かねてより、宮崎県教育研究連合会(以下「宮教研連」と略す)主催の各種事業にご参加、ご協力頂き、深く感謝申し上げます。

さて、宮教研連では、様々な会員の皆様のニーズに対応するため、各種の研修会を毎年計画し、開催しております。しかしながら、県レベルでの研修会等の情報を会員の皆様に広くお伝えするには時間がかかるなどのため、これらの情報が皆様に行き渡っていないなどのご意見も頂いております。

そのため、昨年度から、宮教研連広報メールグループを運用し、会員お一人お一人に直接情報が届くよう情報発信を行っております。

つきましては、多くの会員の皆様に、ぜひ、宮教研連広報メールグループへご参加下さるよう、ご案内申し上げます。

なお、宮教研連では、コロナ禍の中ではありますが、今後も様々な研修活動を推進して参りますので、引き続き、ご理解とご支援、並びに、研修会へのご参加等よろしく申し上げます。

MKKR~MG

宮教研連広報メールグループ(MKKR-MG)へご登録ください!

※宮教研連広報メールグループ(MKKR-MG)は、Google が提供している「GoogleGroups」というサービスを利用しています。

申し込み方法

以下のいずれかの方法で、お申し込み下さい。

- 管理者へメールを送る
メールを受信しようとする PC や携帯端末から、MKKR-MG 管理者 (mkk.mlist@gmail.com、または、右の QR コード) へメールを送る。
タイトルは、「宮教研連 ML 参加希望」
- 「宮教研連」のグループを検索し、メンバー登録を申し込む(Google アカウントを持っている場合)
GoogleGroups のサイトへアクセスし、自分のアカウントでログインし、「宮教研連」を検索し、メンバー登録を申し込む



※ 管理者 宮崎県教育研究連合会 会長

※ 個人情報の管理等

・原則として、お預かりする個人情報は、会員の皆様のメールアドレスのみです。お申込の際には、メールアドレス以外の個人情報は記載しないようお願いいたします。

・お預かりしたメールアドレスは、宮教研連広報メールグループの運用のみに利用します。特別の場合を除いて、第三者等に提供することはありません。

令和3年度 各支会 諸役割分担ローテーション

① 代表委員会

年度	宮崎	南那珂	都北	西諸	西都・児湯		日向	延岡	西臼杵
27			大会宣言		議事録署名	記録		議長	議長
28	大会宣言		議事録署名	記録	議長		議長		
29	議事録署名	記録		議長	議長			大会宣言	
30		議長	議長		大会宣言		記録	議事録署名	
元	議長			大会宣言	記録		議事録署名		議長
2	書面議決のため、担当なし								
3	書面議決のため、担当なし								

② 理事長会(支会長会)

年度	宮崎	南那珂	都北	西諸	西都・児湯		日向	延岡	西臼杵
27	④開閉会	②開閉会	③開閉会	①開閉会	①議事録署名	②議事録署名	③議事録署名	④議事録署名	
28	①議事録署名	②議事録署名	③議事録署名	④議事録署名	①開閉会		②開閉会	③開閉会	④開閉会
29	①開閉会	②開閉会	③開閉会	④開閉会	①議事録署名		②議事録署名	③議事録署名	④議事録署名
30	①議事録署名	②議事録署名	③議事録署名	④議事録署名	①開閉会		②開閉会	③開閉会	④開閉会
元	①開閉会	②開閉会	③開閉会		①議事録署名		②議事録署名	③議事録署名	
2	オンライン開催・書面議決のため、担当なし								
3		①議事録署名	②議事録署名	③議事録署名			①開閉会	②開閉会	③開閉会

③ 執筆等

年度	宮崎	南那珂	都北	西諸	西都・児湯		日向	延岡	西臼杵
25	創造85号				教育新聞		創造86号		
26		創造88号				教育新聞		創造87号	
27			創造90号				教育新聞		創造89号
28	創造92号			創造91号				教育新聞	
29		創造94号			創造93号				教育新聞
30	教育新聞		創造95号				創造96号		
元		教育新聞		創造97号					
2			教育新聞		創造98号				
3				教育新聞			創造99号		

※年度により全日教連からの依頼件数が異なる場合がある。その際は、この順に前倒し、先送りで執筆する。

※依頼内容によっては、この順に拠らない場合がある。

※本年度の執筆内容		執筆者報告	原稿送付締切
創造99号 ※1	日向支会	月 日()	月 日()
教育新聞	西諸県支会	月 日()	月 日()

※1 原稿800字程度 アラカルトの内容:学校・学級の特徴、エピソード等
 特色ある学校行事、授業の様子等についての児童生徒自身の表現物等
 写真複数枚(カラー、白黒可) 原稿、写真ともにメールで送信。どの号かは全日教連で判断。

令和3年度 県外研修予定及び参加の割り当て

※交通費の必要はありません。学習・交流を主とします。動員数は変更の可能性が有ります。
【旅費を節減し参加者を多くするために、支会の参加者の人選を早めをお願いします。】

1 教研全国大会 8月7日(土)～8日(日)香川県高松市 研究員の参加

- コロナ禍のため、分科会は中止で、Webでの資料発表。全体会もオンライン開催。
- 宮教研連は、特別支援教育分科会で発表の予定

2 次期リーダー研 8月19日(木)～20日(金)東京都 次期リーダーの育成

	宮崎	南那珂	都北	西諸	西都	児湯	日向	延岡	西臼杵
平成26年度			○	○	○				
平成27年度						○	○	○	
平成28年度	○	○			(支会合併)				
平成29年度			○	○					
平成30年度					○				○
令和元年度							○	○	
令和2年度	コロナ禍のため 中止								
令和3年度	○	○							

3 教育シンポジウム 11月24日(日)兵庫県神戸市 ※動員者数未定 次期リーダーの参加

- 次期リーダー研及び中華民国研修参加支会を除いた支会から動員。
- 管理職からも動員。(宮教研連の組織拡大のために尽力していただける方)

4 中華民国訪問 1月3日～7日予定 台湾 現役員・次期役員候補の参加

	宮崎	南那珂	都北	西諸	西都・児湯	日向	延岡	西臼杵	
平成27年度	○						○		
平成28年度		○			(支会合併)			○	
平成29年度				○	○				
平成30年度			○			○			
令和元年度	○						○		
令和2年度	コロナ禍のため 中止								
令和3年度		○						○	

各提出書類提出先〔提出先はメール・FAX・郵送〕

宮崎県教育研究連合会事務局

〒 880-0027 宮崎市西池町9-8 校長会館2階

TEL・FAX 0985-27-4508 事務局携帯 070-4516-0833

メールアドレス miyakyoukenren@royal.ocn.ne.jp

説明事項 7

全日教連共済会各種保障制度

加盟している全日教連には、団体総合共済会があり、年金、保険制度が3つある。

各支会の会議や研修会において、同制度よさをアピールする。紹介する機会を設け、加入者や積立金の増加を図る。

① 積立年金制度

積立年金制度のメリットを広く知ってもらい、同制度の加入者及び積立金(口数)増加のために、積極的な働きかけを行う。

<全日教連積立年金制度のメリット>

- 高い利率 予定利率1.26%+配当金、となるため定期預金や年金財形よりも高い利率が見込める。
- 健全な保険会社に委託=安心
積立金の運用は3社の健全な保険会社に委託しているので、個人で1社に積み立てておくよりも安心。
- 積立金(口数)の見直しが可能 年2回、積立金(口数)の変更などを行うことができる。
- 事務手続きが手軽
事務手続きは、電話と郵送のやり取りで済むという手軽さ。銀行や保険会社の営業時間内に店舗に行ったり、営業員を呼んだりする必要もない。緊急に資金が必要となった時も、電話1本で手続き可能。
- 所得税・住民税の軽減
積立金は、一般の生命保険料控除の対象となり、所得税・住民税が軽減される。
(積立金明細書・保険料控除証明書を送付)
- 豊富な年金コース
多彩な年金コースを設定しているので、生活設計に合わせた受け取りができる。

<積立年金制度申し込みスケジュール>

加入日	申し込み締め切り日	申し込み期間
令和3年8月1日	令和3年5月31日(月)	令和4年4月～申込締切日
令和4年2月1日	令和3年11月30日(火)	令和4年10月～申込締切日

※ パンフレット・ちらし、申込書は4月に各支会に配送済み。

② 訴訟費用保険制度

今年度も会員への周知や加入促進に向けた取り組みを進めていく。会議や研修会、全日教連の新聞紙上、ホームページ等で宣伝活動を行う。

近年、教職員が保護者などから裁判等に訴えられるケースが全国が相当数発生している。会員の職と家族を守るための保険制度の周知と加入促進を図る。

<全日教連訴訟費用保険制度のメリット>

- 安い掛け金 団体割引となるため、掛け金がお得。
- 退職後まで保障 60歳で退職しても、以後、5年間は訴訟リスクを保障
- 再任用などにも対応 65歳までは加入できる。

<訴訟費用保険申し込みスケジュール>

加入日	申し込み締め切り日	申し込み期間
令和3年10月1日	令和3年6月30日(水)	令和4年5月～申込締切日
令和4年2月1日	令和3年12月24日(金)	令和4年11月～申込締切日

※ 各支会で会議や研修会等で、訴訟費用保険の説明を行うときに使用するための資料を送付する。

※ パンフ・ちらしは5月に本部に配送予定。

③ 収入保障制度への加入促進

今年度も会員への周知や加入促進に向けた取り組みを進めていく。会議や研修会、全日教連の新聞紙上、ホームページ等で宣伝活動を行う。

<収入補償制度申し込みスケジュール>

加入日	申し込み締め切り日	申し込み期間
令和3年10月1日	令和3年6月30日(水)	令和4年5月～申込締切日
令和4年2月1日	令和3年12月24日(金)	令和4年11月～申込締切日

※ 各支会で会議や研修会等で、収入保障制度の説明を行うときに使用するための資料を送付する。

※ パンフ・ちらしは5月に本部に配送予定。

連絡事項 8

各支会からの提出物等について

宮教研連事務局

各支会へ各種の提出部をお願いしております。年度初めで、大変お忙しいと思いますが、できるだけ期限に間に合わせるようお願い致します。

すでに、期限が過ぎているものもございりますが、未提出の支会は至急御提出くださるようお願い致します。

特に、会員名簿については、これに基づいて、県への負担金(会費)をご請求致します関係から、できるだけ早くご提出をお願いします。また、支会長・理事長様の顔写真は、会報に掲載するものですので、宜しくお願い致します。

	項 目	締切(当初予定)	最終締切
1	R2 支会活動状況	令和3年3月31日(水)	令和3年5月31日(月)
2	R2・R3 研究員候補者名簿	令和3年4月9日(金)	
3	R3 表彰者候補者名簿		
4	R3 支会長・理事長名簿		
5	R3 支会役員名簿	令和3年5月29日(土)	令和3年6月7日(月)
6	R3 会員名簿(学校シート)	令和3年5月14日(金)	
7	R3 支会長・理事長の顔写真	令和3年5月19日(水)	令和3年5月31日(月)
8	R2 研究員研究論文	令和3年4月24日(土)	至急
9	R3 研究員研究計画書	令和3年6月26日(土)	令和3年6月26日(土)

※令和2年度の支会活動状況は出そろっていない関係で、議案書への掲載ができませんでした。